

おおの誠一郎

議会報告と提言

平成28年3月1日発行 発行責任者 大野誠一郎（龍ヶ崎市議会議員）



龍ヶ崎市宮淵町61
TEL 0297-62-1135

駅名改称問題とは？

「佐貫駅」を「龍ヶ崎市駅」へ駅名改称し、龍ヶ崎市の市名を知り（知名度アップ）、龍ヶ崎市に訪れてくる人（交流人口）が増え、交流人口が増えれば、住む人（定住人口）が増加し、人口が増える・・・と中山市長が思いつき、実行しようとしている。

駅名改称費用は3億8900万円！

現在、JRから提示されている駅名改称費用は、一番低額な費用で3億8900万円。費用は龍ヶ崎市とJRが折半、半分ずつとなっているので、総額は7億7800万円にも及ぶことになる。

時期は？ 2020年春

次の4パターンが、JRから龍ヶ崎市に提示された。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① 2020年春のJRにおける新駅設置の時 | 3億8900万円（総額7億7800万円） |
| ② 平成31年10月の消費税率改定の時 | 4億5300万円（総額9億600万円） |
| ③ 平成31年度中実施のダイヤ改正の時 | 5億円（総額10億円） |
| ④ 市単独実施の時 | 6億6000万（総額13億2000万円） |

この4パターンの中で、①2020年春のJR山手線における新駅（高輪ゲートウェイ駅）設置の時が消費税率改定の時より確実であり、上記の中で最も低額であるので2020年春ということになった。（議会へは決定してから報告があった）

見積額の詳細は企業秘密！

見積額の詳細を質問したところ、「見積額の詳細は企業秘密」。「③～④については見積額の詳細は無し」という答弁。「企業秘密」って？ 他の人（会社）に知られたら困る秘密の内容？ 見積額は内容がわからず、比較が出来ない。見積額が不明瞭で、非常に高額すぎる。

「駅名改称」から「道の駅」へ

中山市長は、「駅名改称」の効果（定住人口の増加）は限られたものがあるので増幅効果を図り、相乗効果を発揮するために「道の駅」（佐貫周辺地域整備基本構想）へと進む。

「道の駅」建設費用は21億円以上

「道の駅」本体が17億円以上。「道の駅」につなげる上下水道等インフラ整備、その他が3億8000万円以上。消費税率のアップ（8%→10%）等々により21億円以上の費用がかかることに。

オープン時期は？

当初、今年（平成31年）茨城国体開催前の予定だったが、平成32年度（H33年3月）に変更。しかしながら、護岸改修工事の業者が決定（総額1億2688万円）しているにもかかわらず、軟弱地盤の為、着工できず。更に延期になる模様。

年間利用者数の目標は？ 70万人（初年度 50万人）

年間売上高は？ 7億8000万円（初年度 5億6000万円）

「道の駅」の特徴は？目玉は？

今のところ、質問しても「検討中」であるとの答え。「道の駅」は全国で1,145か所（平成30年4月現在）。進化しながら、現在も「道の駅」は増加中。建設すれば良いというものではない。龍ヶ崎の「道の駅」としての特徴や目玉といったものが必要なのでは？

「効果」が見込めない定住人口政策より、 「4つの日本一」の実現を！

中山市長は「子育て環境日本一」、「市民活動日本一」、「防災、減災日本一」「スポーツ健康日本一」の4つの日本一を掲げている。

何をもって日本一とするか？日本一の基準、数値目標はあるのか？と質問すると、「日本一」はスローガンで、数値目標は無い。「数値の競争」は「不毛の競争」である、と答える。「日本で一番」を掲げた以上、「数値」で個別に又は総合的に1番になるのは当然。市民に分かりやすく説明責任を果たして欲しい。